


令和元年度 職員提案応募用紙

受理番号 R1-01

標 題	財務システムにおける「執行伺」、「支出負担行為伺」及び「流用起案」について	
提案を総括すべき課	契約検査課、財政課、会計課、監査事務局	
改善前	改善後	
<p>平成29年度から新財務システムが稼動し3年目になりました。また、平成30年度秋からは、入札にかかる執行についても、新財務システムを使用しています。(随意契約については、支払時に遡って支出負担行為を入力している課が多く見受けられます。)</p> <p>現在、これら財務システム出力の伺票については、『別途決裁』とし、ノーチェックの状態です。さらに、組替や流用についても、紙の伺いと財務システムの伺いを二重で作成しています。</p>	<p>従来のエクセルで作成している伺票を廃止し、財務システムから出力された「執行伺」「支出負担行為伺」等を使用することを提案します。</p> <p>※ 同様のシステムを用いている伊勢原市さんは、この方法を採用しています。他自治体を参考に、秦野市によりメリットのある方法へ変更し、事務負担の軽減ができると考えます。</p>	
改善効果	実践状況	
<p>このことにより、予算の記載漏れ、記入漏れ、手間、紙の削減等につながり、適正な執行管理ができるものです。</p>	<p>提案内容を既に実践している場合はここにチェックを↓</p>	

※写真等の添付可